

位置図

特記事項
(工事概要)

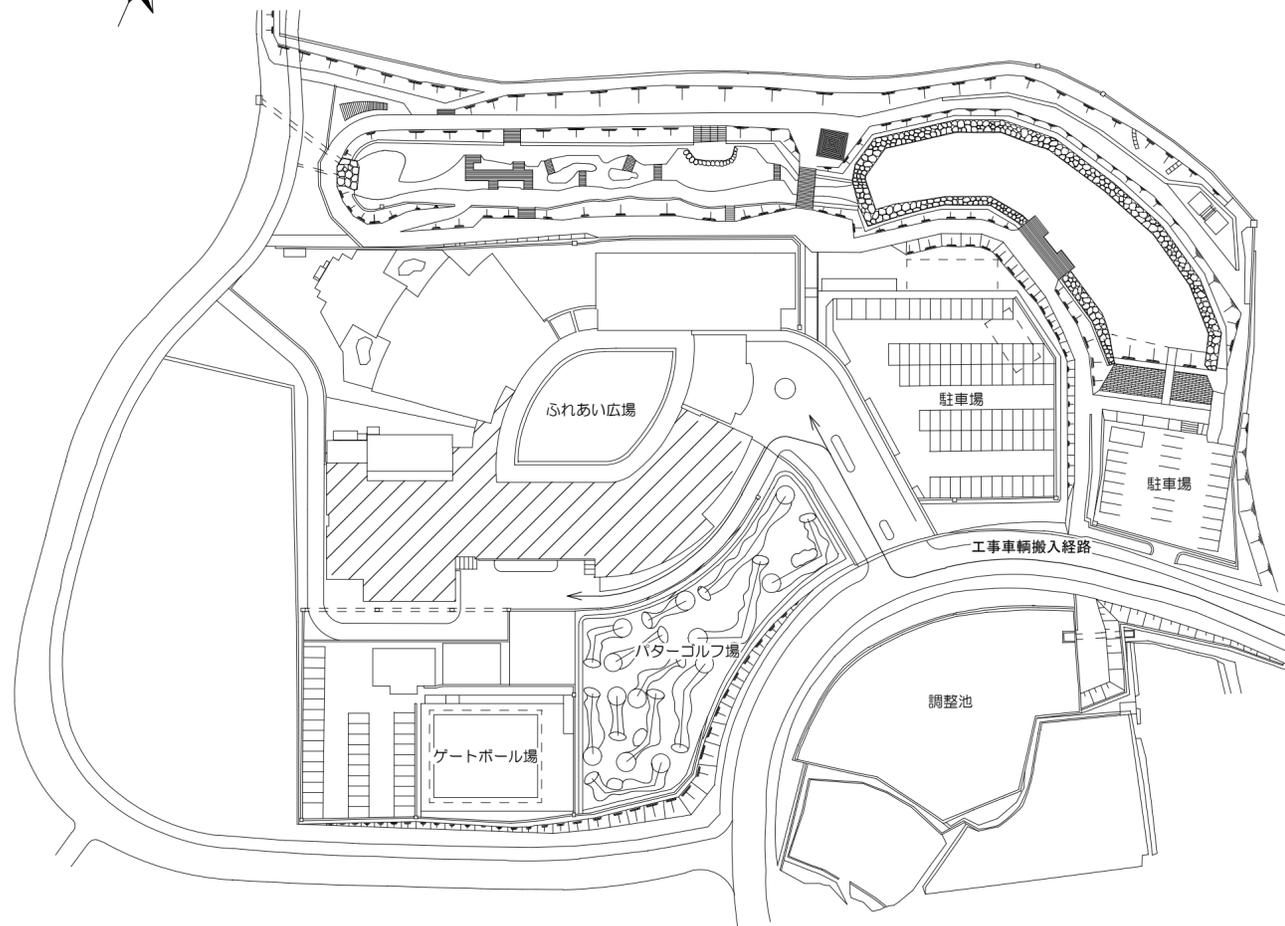
- ・既設の空調設備を撤去の上、機器の新設を行う。
※更新箇所は図示による
- ・上記に伴う機械設備工事

(施工条件)

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・工事期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。なお、内部作業については、施設運営に支障をきたさないよう監督員、施設管理者と打合せをし、工事の日程を決めること。
- ・大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- ・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。
なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・工用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・工用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手及び 工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

(解体撤去処分)

- ・本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・工事完了後、マニフェストA、B2、D票を市監督員に提示すること。
- ・当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を伴う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成27年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。



配置図 S=1/1200

工事対象範囲を示す

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)平成31年版」
「公共建築改修工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)平成31年版」
「公共建築設備工事標準図(電気、機械設備工事編)平成31年版」
「建築、電気、機械設備工事監理指針令和元年版」
- 独立行政法人 建築研究所監修
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

津市とことめの里一志空調設備改修工事		縮尺 1/1200
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. 1/4

空調機器表 (新設)				
記号	形式・名称	仕様	台数	設置場所
GHP-C101	ガスヒートポンプマルチパッケージ (臭気低減機能付)	室外機 (更新用)	1	屋外
		冷房能力: 56.0 kW		
		暖房能力: 63.0 kW		
		3相 200 V		
		室外機基礎: 現場打ち基礎		
GHP-C1011	ガスヒートポンプマルチパッケージ	室内機 (天力セ2方向)	4	事務室 更衣室(1), (2)
		冷房能力: 7.1 kW		
		暖房能力: 8.0 kW		
		単相 200 V		
		標準パネル, リニューアルパネル, 他付属品共		
GHP-1012	ガスヒートポンプマルチパッケージ	室内機 (天吊型)	1	応接兼館長室
		冷房能力: 7.1 kW		
		暖房能力: 8.0 kW		
		単相 200 V		
		ドレンアップキット, 他付属品共		
GHP-1013	ガスヒートポンプマルチパッケージ	室内機 (天吊型)	2	会議室
		冷房能力: 14.0 kW		
		暖房能力: 16.0 kW		
		単相 200 V		
		ドレンアップキット, 他付属品共		
R	ワイヤードリモコン		3	
<p>特記事項</p> <p>運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。</p> <p>空調機トップランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。</p> <p>室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。</p> <p>リモコン配線共本工事とする。</p> <p>室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締め付けの事。アンカーはケミカルアンカー仕様。</p> <p>機器は同等品以上とする。室外機は防振ゴムシート (t = 10以上) を敷くこと。</p> <p>機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。</p>				

空調機器表 (撤去)			電動機			台数	設置場所
記号	形式・名称	仕様	φ × V	kW	起動方式		
GHP-C101	ガスヒートポンプマルチパッケージ	室外機 (20.0HP, LPG)	3 × 200	1.65	LS	1	屋外
		冷房能力: 50,000 kcal/h					
		暖房能力: 56,000 kcal/h					
		圧縮機: -----					
		送風機: -----					
		付属品: 冷媒分岐管, 他一式					
GHP-C1011	ガスヒートポンプマルチパッケージ	室内機 (2.5HP, 2方向吹出力セット型)				4	事務室 更衣室(1), (2)
		冷房能力: 6,300 kcal/h					
		暖房能力: 7,100 kcal/h					
		送風機: 1,140 m ³ /h	1 × 200	250 W	LS		
		付属品: 化粧パネル, 他一式					
GHP-1012	ガスヒートポンプマルチパッケージ	室内機 (2.5HP, 天埋ダクト型)				(1)	応接兼館長室
		冷房能力: 6,300 kcal/h					
		暖房能力: 7,100 kcal/h					
		送風機: 1,140 m ³ /h	1 × 200	250 W	LS		
		付属品: 化粧パネル, 他一式					
GHP-1013	ガスヒートポンプマルチパッケージ	室内機 (5.0HP, 天埋ダクト型)				(2)	会議室
		冷房能力: 12,500 kcal/h					
		暖房能力: 14,000 kcal/h					
		送風機: 2,280 m ³ /h	1 × 200	660 W	LS		
		付属品: 他一式					
R	ワイヤードリモコン					3	

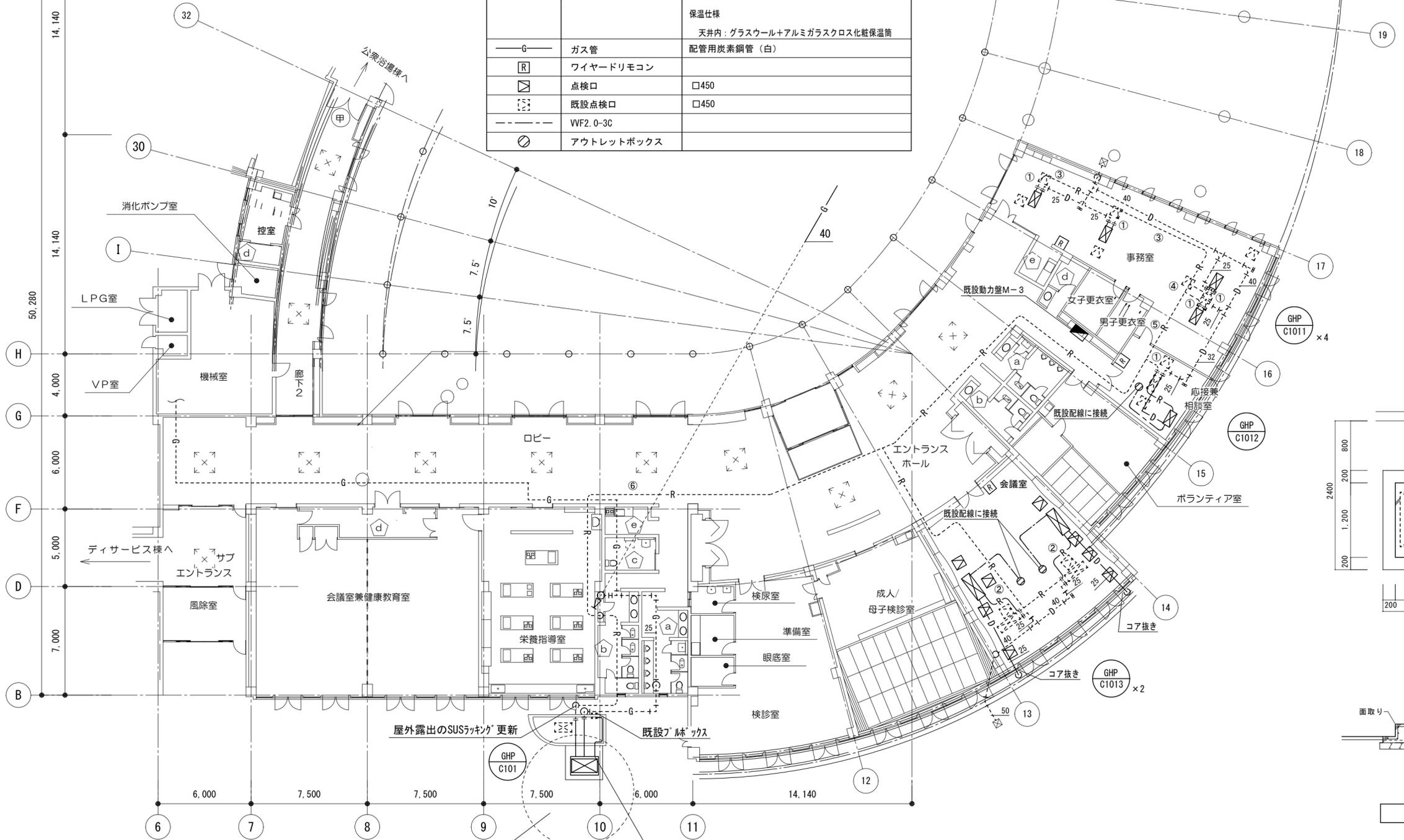
空調設備改設工事要領
<ol style="list-style-type: none"> 1. 空調室内外機の撤去新設を行う。 2. 室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締め付けの事。アンカーはケミカルアンカー仕様。 3. 冷媒管、室内外連絡線、リモコン制御線は既設利用とする。 4. ドレン管は撤去した機器に接続されていた既設配管に接続する。 5. ドレン管は切離した後、新設配管接続まで養生しておくこと。 6. 既設のワイヤードリモコンを撤去し、新設する。

津市とことめの里一志空調設備改修工事		縮尺 N/S
図面名称	機器表・空調設備改設工事要領	原因: A 2
津市建設部営繕課		No. 2/4

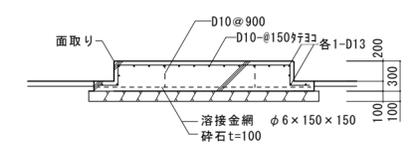
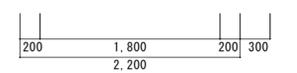
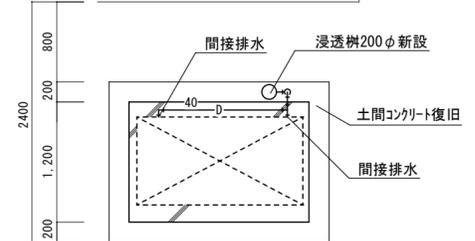


記号	液管	ガス管
①	φ6.35	φ15.88
②	φ9.52	φ15.88
③	φ9.52	φ19.05
④	φ15.88	φ28.58
⑤	φ15.88	φ31.50
⑥	φ15.88	φ38.10
⑦	φ12.70	φ31.75

図示記号	名称	備考
—	新設配管	
- - -	現状維持配管	
- · - ·	現状配管・新設配管接続部分	
—R—	冷媒管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管：10mm (ただし、φ10未満は8mm) ガス管：20mm 保温仕様 屋外露出：ポリスチレン保温筒+SUSラッキング仕上げ
—D—	ドレン管	硬質塩化ビニル管 (VP) 保温仕様 天井内：グラスウール+アルミガラスクロス化粧保温筒
—G—	ガス管	配管用炭素鋼管 (白)
Ⓡ	ワイヤードリモン	
□	点検口	□450
□	既設点検口	□450
- - -	VVF2.0-3C	
⊙	アウトレットボックス	



- 部屋名
- ⓐ: 男子便所
 - ⓑ: 女子便所
 - ⓒ: 身障者用便所
 - ⓓ: 倉庫
 - ⓔ: 湯沸室



基礎詳細図 S=1/50

基礎詳細図参照

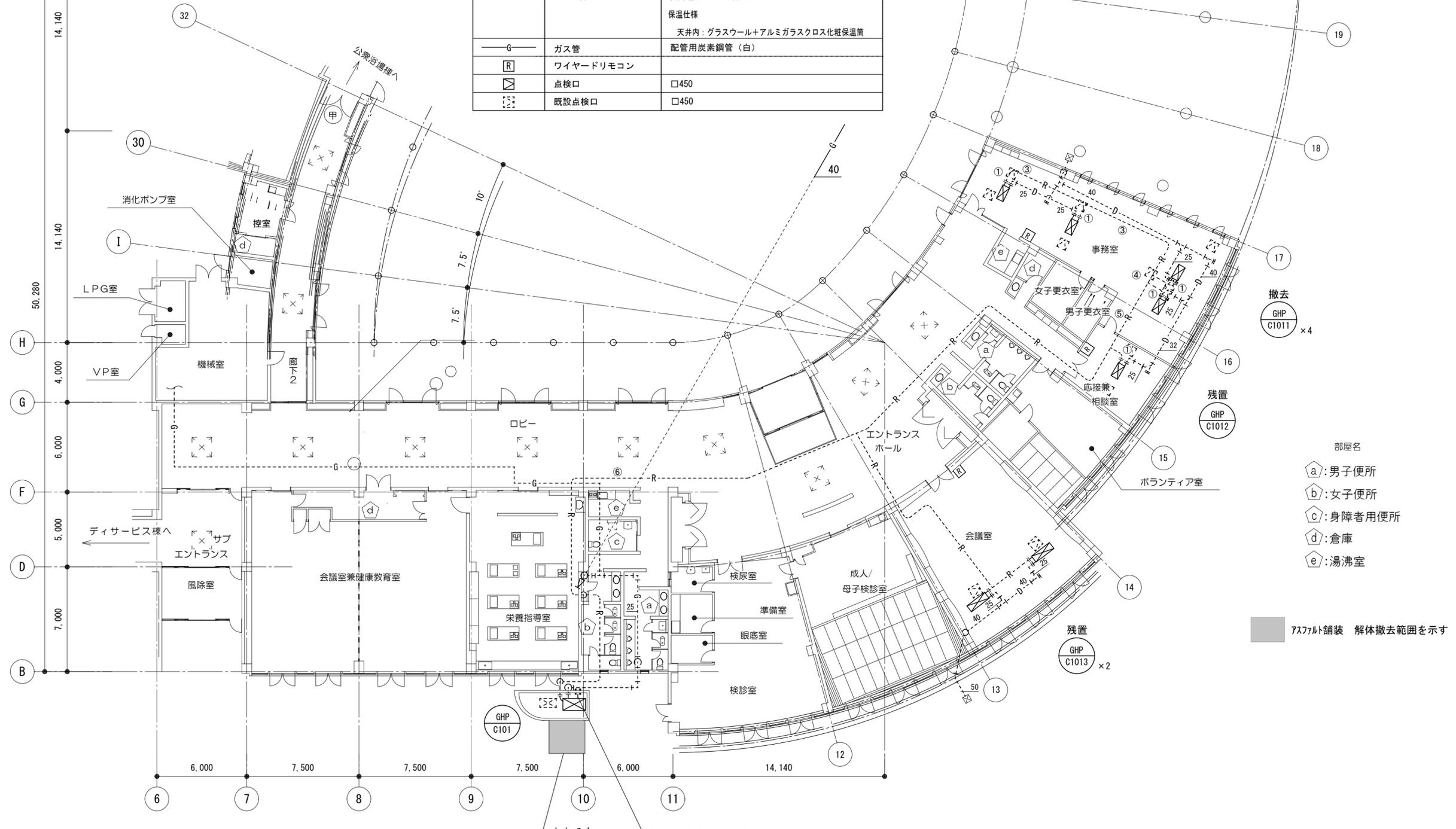
平面図 S=1/200

津市とことめの里一志空調設備改修工事		縮尺 1/200 1/50
図面名称	平面図・基礎詳細図 (改修後)	原図: A 2
津市建設部営繕課		No. 3/4



記号	液管	ガス管
①	φ6.35	φ15.88
②	φ9.52	φ15.88
③	φ9.52	φ19.05
④	φ15.88	φ28.58
⑤	φ15.88	φ31.50
⑥	φ15.88	φ38.10
⑦	φ12.70	φ31.75

図示記号	名称	備考
—	撤去配管	
---	現状維持配管	
--- ---	現状配管・撤去配管切断部分	
—R—	冷媒管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管: 10mm (ただし、φ10未満は8mm) ガス管: 20mm 保温仕様 屋外露出: ポリスチレン保温管+SUSラッキング仕上げ
—D—	ドレン管	硬質塩化ビニル管 (VP) 保温仕様 天井内: グラスウール+アルミガラスクロス化粧保温筒
—G—	ガス管	配管用炭素鋼管 (白)
□R	ワイヤードリモコン	
□	点検口	□450
□	既設点検口	□450



- 部屋名
- a: 男子便所
 - b: 女子便所
 - c: 身障者用便所
 - d: 倉庫
 - e: 湯沸室
- 撤去
GHP C1011 × 4
- 残置
GHP C1012
- 残置
GHP C1013 × 2
- 777アルミ舗装 解体撤去範囲を示す

平面図 S=1/200

津市とことめの里一志空調設備改修工事		縮尺 1/200
図面名称	平面図 (改修前)	原図: A 2
津市建設部営繕課		No. 4/4